

沖歯科医院便り

発行/沖歯科医院 〒053-0855 苫小牧市見山町4丁目1-6

☎0144(72)8558 ☎0800(800)8545

<http://www.oki-dentalclinic.com/>



「どうなる？国民皆歯科健診」

現在、「歯科健診」は1歳半と3歳、学校に通う子どもが受診義務の対象ですが、国民皆歯科健診は年齢を問わず1年に1回の歯科健診の受診を義務づけることで歯の健康を守っていくのが目的です。

国民皆歯科健診はどのようなものなのか？ 検討事項にとどまる今の段階では、具体的な内容はわかりませんが、イメージ的には、すべての国民あるいは、対象となる国民を対象に、定期的に歯科健診を実施し、自覚症状がない段階から健診を受けてもらうことでむし歯や歯周病、あるいは、オーラルフレイルなど口の病気を予防し、早い段階で治療をすることにより、大事な歯や口の機能を守っていこうというものです。

また、歯の病気が全身疾患に深くかかわっているということも、検診を義務付ける理由の一つだと思います。

問題となる歯の病気の代表は、日本人の約8割がかかっているといわれる歯周病です。心筋梗塞や脳梗塞、糖尿病、肥満や誤嚥性肺炎、認知症等、歯周病が引き金になって起こる数多くの全身の病気が明らかになってきています。

口の中の血管に入った歯周病菌が全身の血管から、さまざまな臓器にまわることが原因と考えられています。重症の歯周病があると糖尿病が悪化すること、逆に糖尿病があると歯周病が悪くなることがわかっています。

歯周病を治療してもなかなかよくなる患者さんに内科で診察を受けてもらったところ、糖尿病が見つかったケースなども多くの歯周病専門医が経験しています。

また、認知症においてはアルツハイマーで亡くなった患者さんの脳から、歯周病菌に関連する物質が見つかり、この物質を抑えて認知症対策に応用するために薬の研究もおこなわれています。

このほか大腸がんや食道がん、すい臓がんなどのがんが歯周病菌と関連しているという報告も出てきています。

国民皆歯科健診が普及し、歯周病になる人を減らすことで、こうしたさまざまな病気の減少につながれば、国民の健康に大きく寄与し、長期的には医療費の削減にもつながると思います。

歯とお口に
まつわる歴史

デンタルヒストリア



歴史を覆す!? 仏で約5万4000年前の子どもの歯を発見！

今年2月、フランスの洞窟で約5万4000年前の子どもの^{きゆうし}臼歯が発見されたことがニュースになりました。これは、現生人類である“ホモ・サピエンス”がアフリカからヨーロッパに渡ったという最古の証拠であり、今まで考えられていた時期よりも約1万年も早く到達していたことがこの発見で明らかになりました。また、洞窟の地層からは、旧人類の“ネアンデルタール人”と“ホモ・サピエンス”が交互に居住していたことや、時期によってはわずか1年で洞窟に住む種が入れ替わっていたこともわかったそうです。たった1本の歯が歴史を塗り替える大発見につながることは、驚きですね！

